

# メロン、ミニトマトの栽培技術習得と販売促進資材の作成による就農計画の達成

湖北農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

昨年度就農された K 氏は、1 作目の抑制ミニトマトで計画どおりの収量を達成されました。

就農 2 年目の今年度は半促成メロン栽培に取り組まれることから、栽培技術を習得し、計画した出荷量と販売額を確保することを目標にしました。

また、庭先や直売所での販売を促進するため、販売促進資材の作成を支援しました。



写真1 プランナーを交えた出荷シールを検討

## 【普及活動の内容】

メロン栽培では、定植前から定期的には場巡回し、ハウス内の温湿度や養液管理、整枝作業を中心に助言しました。特に生育中期には着果節位から上位の葉の枚数が多く、玉が小さく、糖度が低下する状態となっていました。このため、思い切って不要な葉を取り、玉を肥大させる養液管理など細かな栽培管理を助言しました。

また、販売促進資材を作成するため農山漁村発イノベーションプランナーとともに 13 回の検討を重ね、農園のコンセプト「清らかな地下水」と「メロンの緑、ミニトマトの赤色」、「ハウスの形」を組み合わせたロゴマークとメロン、ミニトマトの出荷パッケージ用のシールやリーフレットの作成を支援しました。

## 【普及活動の成果】

メロンの収量は 1,720kg/10a で計画した販売額を達成でき、ミニトマトと合わせた就農 2 年目の目標販売額は 1.2 倍にまで伸ばすことができました。

農園ロゴマークや、メロンとミニトマトの販売用シールを活用されたことで、庭先直売や管内直売所での認知度が高まり、集客が増え、販売促進資材の重要性を K 氏が理解されました。

### ◎対象者の意見

一時は心配しましたが、糖度の高いメロンを収穫でき、計画以上の販売額となりました。プロデザイナーのアドバイスを受け、オリジナル感溢れるロゴマークと出荷パッケージデザインができ、販売単価を高めにしても有利販売でき、お客さんにも好評でした。(K氏)